



切り開け希望への道 自分自身との戦いだ



新たな世界へと 踏み出そう

大学・短大 13名 (県外3名/県内10名)

普		東京都	東京農業大学
普		神奈川県	神奈川大学
園		大阪府	関西大学
普		沖縄県	沖縄県立看護大学
普		沖縄県	沖縄国際大学
普		沖縄県	沖縄国際大学
普		沖縄県	沖縄国際大学
普		沖縄県	沖縄国際大学
普		沖縄県	沖縄国際大学
普		沖縄県	沖縄大学
普		沖縄県	沖縄大学
普		沖縄県	沖縄女子短期大学
普		沖縄県	沖縄女子短期大学

就職 11名 (県外1名/沖縄本島7名/久米島町3名)

普		神奈川県	富士屋ホテル株式会社
園		沖縄県	株式会社ネオ・エモーション
園		沖縄県	有限会社浪速丸海亭
園		沖縄県	株式会社りゅうせきライフサポート
園		沖縄県	株式会社南九州沖縄クボタ
園		沖縄県	ホクガン運輸株式会社
普		沖縄県	株式会社サンエー
普		沖縄県	株式会社野嵩商会
園		久米島町	株式会社イーストレンタカー
普		久米島町	日本郵便株式会社 沖縄支社
普		久米島町	株式会社沖縄ダイケン

専門学校 20名 (県外7名/県内13名)

園		北海道	北海道新得町立レディースファームスクール
園		岩手県	岩手医科大学医療専門学校
普		宮城県	仙台ビューティアート専門学校
園		埼玉県	専門学校 越生自動車大学校
普		東京都	東京スポーツ・レクリエーション専門学校
普		兵庫県	神戸電子専門学校
普		福岡県	福岡リハビリテーション専門学校
園		沖縄県	学校法人KBC学園専門学校ビューティモードカレッジ
園		沖縄県	専門学校那覇日経ビジネス
園		沖縄県	専門学校大育
普		沖縄県	SOLA沖縄保健医療工学院
普		沖縄県	SOLA沖縄保健医療工学院
普		沖縄県	SOLA沖縄保健医療工学院
普		沖縄県	専修学校パシフィックテクノカレッジ学院
普		沖縄県	学校法人KBC学園専門学校沖縄大原簿記公務員専門学校
普		沖縄県	学校法人KBC学園専門学校沖縄大原簿記公務員専門学校
普		沖縄県	沖縄保育福祉専門学校
普		沖縄県	医療法人おもと会沖縄リハビリテーション福祉学院
普		沖縄県	浦添看護学校
普		沖縄県	沖縄リゾート&スポーツ専門学校

大平特別支援学校高等部 久米島高等学校分教室 就職3名

分		久米島町	竜徳丸 (漁師)
分		沖縄県	株式会社あんしん
分		久米島町	デイサービスセンターかりゆし

■合格・内定者のみなさんへ■
生徒玄関に掲示している合格写真を、希望者(本人)に差し上げます。
希望者は来年度の夏休み期間中に、事前に進路室に電話で来校日時を
予約の上、本人が来校してください。(9月以降は保管しません)
※上記の対応が難しいが希望する場合は、3月24日までに進路室に相談にお越し下さい。

合格・内定
おめでとう!!

進路決定率 **71.0%** 2/28 現在

1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42	43	44	45
46	47	48	49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60	61	62	

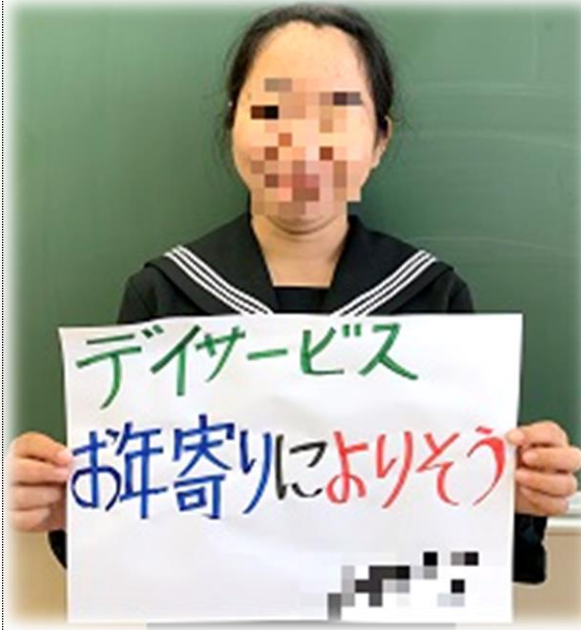


全力応援

激闘中の
18名

デイサービスセンターかりゆし

私は、この仕事を選んだ理由は、実習で、介護の企業に行った際、利用者さんからありがとうと言われた時に人のためになる仕事をしたと思ったからです。実習では、水を酉己ったり髪を乾かす仕事を体験できました。面接までに、私は進路相談や面接練習など、本番に向けてたくさんの準備をしました。また、石井修に行って介護に関する入門的研修を修了することができました。学校に通いながらで大変だったけど、努力してよかったと思います。後輩へのアドバイスは、1,2年生の時から何をしたいのかとか色々考えて、親とか先生方に相談していった方がいいということです。決めてないとあとから忙しくなって、とても大変です。今後の目標は、利用者さんや会社の人々の名前を覚える事と、自立が出来るように元氣張ります。お世話になった先生方ありがとうございました。



今、となりで笑う友だちと、次に会うのはいつでしょう？



3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
 まもなく多くの人々が島を離れ、新しい生活を始めます。
 よく言われるように、人生は選択の連続です。久米島高校に入学することを選び、卒業後、例えば県外に進学することを選ぶ。想像しているよりはるかに劇的に変わる4月からの日々に、きっと誰も一度は押しつぶされそうになるでしょう。一かつて「18の春」を経験した人皆、そうでした。そんなとききっと、思い出の中の風景は、夢のように甘く温かくあなたを誘う。けれどあなたがふと島を振り返っても、もうそこに今と同じ景色はありません。ともに子ども時代を過ごした仲間たちの姿はすでになく、「島の子ども」として広い心で見守ってくれた大人たちもはや、同じまなざしを向けてはくれません。帰ろうとしても、「帰る先は、出て行ったときとは別な世界」です。あなたはそこで再び、これから先の時間を自分にとって望ましいものにするために「何を選ぶか」、新たな選択と向き合うことになります。
 これはとても大切なことなので覚えておいてほしいのですが、あなたのことをあなた以上に理解し、わかってあげられる存在は他にいません。ですから、常に自分自身の心の声に耳を傾けて、自分が何をうれしいと感じ、何を耐えられない、一自分の人生には決して受け入れられないことだ、と感じるのか、それをわかってあげられるようにして欲しいのです。例えば、大好きな仕事に就いているが、先輩と合わず毎日がつらい。そのとき、「この先輩と二度と顔を合わせずに済む日々」と「大好きな仕事ができる日々」、そのどちらがより自分を幸せにする道につながっていくのか、それを見極められなければ、自分を幸せにすることはできません。誰にとっても、人生で一番大切な仕事は、自分を常に機嫌良く保ち、幸せにしてあげることです。自分で自分を幸せにする力、それこそが生きる力だと思います。
 みなさんの、人生最初の大きな選択を心から祝福します。
 ひとりひとりが自分という船の船長さん。幸せに導いてあげてください。

